

第 6 回 総合計画策定審議会 議事要旨

会議名：第 6 回総合計画策定審議会

日時：2025 年 9 月 16 日（火）14:00～15:00

場所：吉野町中央公民館 第 3 研修室

参加者：出席者名簿の通り

欠席者：吉野中央森林組合 坂本委員、吉野町民生児童委員協議会 木谷委員、吉野町教育委員会 松谷委員、吉野町連合 PTA 中島委員、吉野町青少年問題協議会 里田委員、吉野町スポーツ推進委員 東平委員、無作為抽出委員 森口委員の計 7 名

代理出席者：吉野町商工会 貝谷氏、吉野製材工業協同組合 武田氏

資料：・第 6 回総合計画策定審議会次第

・資料 1 吉野町人口ビジョン・第 3 期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略案

・資料 2 パブリックコメントの実施概要

・資料 3 第 5 次吉野町総合計画序論案・後期基本計画案

・参考資料 目標人口に関する資料

【以下、協議内容】

1 開会

- 吉野町 町長公室 紙西補佐より開会の挨拶及び委員の出席者数の報告を行った。

2 議題（1）吉野町人口ビジョン・第 3 期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略案

- 有限責任監査法人トーマツ 中野より「資料 1 吉野町人口ビジョン・第 3 期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略案」に基づき、吉野町人口ビジョン案について説明を行った。
- 吉野町 町長公室 阪本補佐より「資料 1 吉野町人口ビジョン・第 3 期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略案」に基づき、吉野町人口ビジョン・第 3 期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略案について説明を行った。
- 会長より「吉野町人口ビジョン案」について、意見を募った。

【委員】

「2.吉野町の人口の現状分析（3）社会増減に関する分析 ②年齢階級別人口移動（長期的動向）」の図 17・図 18 について、2015 年以降、55～59 歳→60～64 歳、60～64 歳→65～69 歳の社会減が大きくなっており、年齢を重ねることで、生活が不便であるため都会へ転出していると読み取れる。

【事務局】

転出者アンケートを令和 4 年度から実施しており、60～70 歳代の転出者のうち、もっとも多い転出理由は親族との同居や近居であった。「吉野町に住んでいて不満な点」として、買い物や町外へ移動する

公共交通機関の不便さに関して回答する転出者が多かった。アンケート結果は担当課に共有している。

【委員】

アンケート結果から高齢者は子どもと同居や近居するために転出している状況であると考えるが、今後も転出者を抑制する必要があるため、施策検討に活用してほしい。

【委員】

就労場所の増加や女性が活躍する環境を整備することが、目標人口の達成につながるか懸念している。

町内に住んでいる役場の職員が少ないため、どのような条件や状況であれば町内に住むことができるか確認することで、施策に活用できるのではないかと考えている。町は二地域居住を推進しているが、吉野町を主要拠点にしている人が増加しない限り、目標人口を達成することは難しいと思う。

【事務局】

住みよいまちを維持し、関係人口や移住定住の取組を推進することで、目標人口の達成を目指している。また、転入・転出の要因を今後さらに分析する必要があると考えている。

近年の吉野町職員採用試験の受験者のうち、吉野町に関わりのない方が多い。また、役場の職員のうち、確かな数値ではないが、5割程度は町外に在住している。

町内の7つの区域を中心とした地域拠点を形成することにより、地域の特色を活かしたまちづくりを推進すること、また、二地域居住を促進し、地域の多様な担い手として「関係人口」を創出することにより、地域を持続的に維持・発展していくことの両面でまちの維持に向けた取組を進めていきたいと考えている。住みよいまちをつくることで、転出者の減少と転入者の増加を図りたい。

【委員】

役場の職員がどのような条件や状況であれば、町内に住むことができるか確認し、今後の望ましい方向性を検討することで、現実的かつ実効性の高い計画になると考えている。

【会長】

自然災害発生時の対応を考慮すると、役場の職員が町内に在住することは重要であるため、意見を活用してほしい。

【会長】

「3.人口の将来展望（2）人口ピラミッド比較」について、推計（不作為）人口の95歳以上女性は132人であるのに対し、目標人口達成時は120人である理由を確認したい。

【事務局】

確認の上、回答する。

➤ 会長より「第 3 期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略案」について、意見を募った。

【会長】

「1. 第 3 期 吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本方針（3）総合戦略の推進 ①総合戦略の推進にあたっての視点」について、「1.自立性」とあるが、具体的な内容を確認したい。

【事務局】

行政だけでまちづくりを推進することは難しいため、町・民間事業者・個人がそれぞれの役割を認識し、かつ連携も強化していくことをイメージしている。

【委員】

「2.基本目標・基本方針 基本目標Ⅳ」の成果指標について、デジタル関連の取組の成果を測定する指標になっていないと考えている。

【会長】

デジタル関連の事業計画がないため、成果指標を設定することは難しいが、意見を踏まえて検討してほしい。

【会長】

「2.基本目標・基本方針 基本目標Ⅲ」について、「②吉野のよさや魅力等の情報発信を通じた移住定住の促進」の空き家バンク成約件数の目標値（2030 年）は 20 件であるが、「③地域の多様な担い手としての「関係人口」の創出及び二地域居住の促進」の空き家バンク成約件数の目標値は 25 件になっている。

【事務局】

空き家バンク成約件数の目標値（2030 年）は 20 件であるため修正する。

【委員】

成果指標や KPI は毎年実績値を取得するか確認したい。

【事務局】

第 5 次吉野町総合計画後期基本計画と同じ成果指標や KPI は基本的に毎年実績値を取得できるが、国勢調査や経済センサスをもとにした指標は数年に 1 回の調査であるため、毎年実績値の取得ができない。

2 議題（２）パブリックコメントの実施概要

- 吉野町 町長公室 阪本補佐より「資料 2 パブリックコメントの実施概要」に基づき、パブリックコメントの実施概要について説明を行った。

【委員】

パブリックコメントの周知方法を確認したい。

【事務局】

町公式 HP、CVY の文字ニュース、町公式 LINE（9 月 26 日を予定）でパブリックコメントを周知する予定である。

【委員】

閲覧場所に地域自治協議会を追加するのがよい。

【事務局】

パブリックコメントの閲覧場所について検討する。

2 議題（３）その他

- 報告事項なし

3 閉会

- 吉野町 町長公室 紙西補佐より閉会の挨拶を行った。

以上